

看護実践評価表(クリニカルラダー)

北信総合病院看護部

		科名		氏名					
レベル	レベル I : 新人～:概ね1～3年	レベルII:一人前 概ね4年～	レベルIII:中堅 概ね6年～	レベルIV:達人 概ね10年以上	20 年	20 年	20 年		
レベル別到達目標	1日常生活援助のための基本的知識、技術、態度を身につけ、ベッドサイドケアが安全確実に実践できる 2看護師(担当看護師、受持ち看護師)の役割と責任を果たすことができる 3院内・院外研修、看護実践を通じて、看護の知識を深められる 4看護過程をふまえた個別的ケアが実践できる 5研究活動に参加する	1看護師(受持ち看護師、日々リーダー)の役割と責任を果たすことができる 2院内・院外研修の学びを看護実践の場を生かすことができる 3課題に取り組み、看護実践を振り返ることができる	1専門領域における看護実践の役割モデルとなる(受持ち看護師として役割モデルになる) 2医療チーム内でのリーダーシップを発揮できる 3チームリーダーとしての役割と責任を果たせる 4後輩および看護学生に対して指導的に関与する 5看護研究・研修を通じて看護実践を深めることができる	1専門看護師として役割モデルとなり、専門性を発揮できる 2看護単位における課題を明確にし、目標を示しながら管理行動がとれる 3看護単位における教育的役割を果たすことができる 4管理および専門看護分野における研究開発を行い、改革の推進者となる 5患者の安全を確保し、質の高い看護を提供するためのマネジメント能力の向上をはかり、役割を遂行できる 6看護単位の直接的ケアの責任者としてのリーダーシップがとれる					
構成要素 実践の特徴	1 同じような状況であれば、その場で判断・行動できる	1 診療の補助業務を正確に実施できる 2 結果や危険を予測し、回避対策を実施できる	1 優先順位や重要性を考慮し、判断・行動できる 2 経験に基づいた判断・行動ができる	1 ある状況を部分的でなく、全体として認識し、行動ができる 2 根拠と経験に基づいた判断・行動ができる					
看護サービス・実践能力	患者の状態に応じた看護サービスの提供	1 指導を受けながら、割り当てられた患者について決められた書式を使用し情報収集できる	1 割り当てられた患者の状況を判断し、意図的に情報収集ができる 2 必要な情報をチームメンバーに伝達できる	1 信頼関係を確立し情報収集ができる 2 家族や社会問題についても考察して情報収集ができる 3 他の医療チームの情報を利用して、包括的な情報収集ができる	1 問題の領域の的を以って選択的に情報収集ができる				
	知識と正確な技術による看護実践能力	1 指導を受けながら、割り当てられた患者の看護問題をあげることができる 2 わかりやすい言葉で説明ができる	1 情報に基づいて査定し、看護問題を明らかにすることができる 2 問題をチームメンバーに伝達できる	1 他の医療メンバーに相談が必要な問題かどうか鑑別できる 2 潜在する問題についても判別できる 3 問題を医療チームメンバーに伝達できる	1 選択的に収集した情報に基づいて、即座に、的を得た看護問題が判別できる				
	実践	1 指導を受けながら、割り当てられた患者の看護計画にそって実践できる 2 割り当てられた患者の日常生活の援助ができる 3 割り当てられた患者の症状と反応を観察し、異常について即座に報告できる 4 看護基準を参考に、正確かつ安全に看護業務が遂行できる 5 患者の意見を医師に伝達できる 6 未習得の看護技術を実施する場合に確認を求めることができる 7 指導を受けながら記載手順に沿った記録ができる	1 割り当てられた患者の看護計画にそって、実践でき、患者及び家族の指導ができる 2 患者の症状と反応を観察し、異常について報告し対処できる 3 根拠に基づいて看護技術を安全・確実に実践できる 4 未習得の看護技術を実施する場合に資料や人的資源を活用できる 5 看護実践が正確に記録できる 6 指示を受け、緊急事態に対応できる 7 一定時間内にケアが完了できる	1 優先度を考慮して、看護問題に即した看護計画を立案できる 2 社会資源を活用できる 3 患者及び家族に合わせた説明ができ、同意を得ることができる	1 特殊な、又は複雑なニーズを持つ患者の看護計画を立案できる 2 患者の退院後の生活像に合わせた患者のゴールが設定できる 3 患者及び家族がケアや治療に同意する上で、十分な情報を確実に得られるよう配慮・調整ができる				
	評価	1 割り当てられた患者に行ったケアの結果を報告できる 2 指導を受けながら、割り当てられた患者のケアについて妥当性を評価できる 3 ケアの結果についての疑問点を質問することができる	1 割り当てられた患者に行ったケアの結果を的確に報告できる 2 割り当てられた患者ケアについて、妥当性を評価できる 3 患者のケアに対する反応を評価し、記録できる	1 看護過程の展開について評価し、その結果をチームメンバーに伝達し共有できる 2 医療チームメンバーと協力し、患者の経過を査定できる	1 患者の反応も含めて、提供したケアについて質的・量的に評価し、自他ともにフィードバックできる 2 日常の看護ケアの中で行われているケアに疑問を感じたときは意見として述べる事ができる				
マネー	リーダーシップ	1 チームの一員であることを理解し、メンバーシップが取れる 2 院内のルール・システムを理解し、看護実践ができる 3 受持ち看護師の役割を理解し、行動できる 4 与えられた仕事を指示に沿って実施することができる	1 受持ち看護師の役割を理解し、受持ち看護師として責任ある行動が取れる 2 与えられた仕事を最後まで計画通りやり遂げる事ができる	1 受持ち看護師としての自己の責任を理解し、リーダーシップを発揮できる 2 多少の困難があっても仕事を最後まで遂行する事ができる	1 リーダーシップを発揮して、チーム内の業務調整が図れ、指導・支援ができる 2 どんな困難なことがあっても最後まで最善を尽くし責任を果たすことができる				
	看護管理	1 病院・看護部の理念を知っている 2 当院の労務規律を知っている	1 病院・看護部の理念を理解でき、当該部署の目標達成に向けて行動できる 2 労務規律を理解し、実践する事ができる	1 理念に基づいて他部門と協力し、経営目標達成のために実践できる 2 労務規律を理解し、自己コントロールができる 3 患者に及ぼす危険を予測し安全対策が実施できる	1 理念の実現に向けてリーダーシップを発揮できる 2 労務規律に沿ってスタッフを指導する事ができる 3 突発的事態にリーダーシップを発揮できる				
	物品管理	1 SPDの目的と運用方法が理解できる 2 物品が使い易いよう整理整頓ができる 3 機器管理室の物品の運用方法が理解できる 4 機器の不具合や故障について師長・主任に報告できる	1 物品の在庫状況を見て、師長・主任に発注依頼ができる 2 物品の用途や使用方法を理解し正しく使用できる 3 書類の種類と記入方法が理解でき正しく活用できる	1 経済的側面(物品・薬品の注文、処置・注射伝表記入もれ)に注意を払う事ができる 2 その科特有の機器の操作ができる	1 物品・薬品の定数を適切に管理できる 2 関連職種と密接に連絡・調整ができる				
	看護実践に必要な管理能力	1 看護単位の特殊性と業務内容について説明できる 2 看護単位の目的、目標を知りその達成のために活動に参加する 3 看護単位のカンファレンスに参加する	1 各勤務帯において、マニュアルに沿った業務の遂行ができる 2 看護単位の目的、目標達成のための具体的活動ができる 3 カンファレンスにおいて、看護上の問題について情報交換したり意見を述べることができる	1 業務全体の流れに注意を払う事ができる 2 看護単位の目的、目標達成度の評価に参加する 3 カンファレンスにおいて実践した看護の評価をすることができる	1 看護ニーズとスタッフの能力を考慮に入れ、業務が遂行できる 2 看護単位の活動方針の作成に参加し、その活動を実践できる 3 看護単位のスタッフと師長のパイプ役として機能できる				
医療チームとの協調・連携能力	危機管理	1 患者や家族の苦情を医師、上司に報告できる 2 災害時対応マニュアルの保管場所と内容を知っている 3 感染対策マニュアルの保管場所と内容を知っている 4 マニュアルに沿ったスタンダードプレコシジョンの実践ができる 5 医療事故防止対策マニュアルの保管場所と内容を知っている	1 患者や家族の苦情への対処とその経過を医師、上司に報告できる 2 災害時マニュアルに沿って連絡、対応(避難・誘導)ができる 3 感染発生時のマニュアルに沿った対応ができる 4 事故発生時、報告用紙に沿って記録し原因の分析ができる	1 対策をスタッフに周知、徹底できる 2 災害発生時にリーダーシップを発揮することができる 3 感染発生時のマニュアルに沿った対応ができ、ICNとの調整ができる 4 リスクに気付いた時、カンファレンスを開催し、対策を立てることができる 5 原因の分析から業務改善策及び予防策を周知できる	1 担当部署のリスク状況を把握し事故防止に努める事ができる				
	コミュニケーション能力	1 患者・家族及びチームメンバーとコミュニケーションがとれ、必要なことを報告・連絡・相談ができる。	1 患者・家族及び医療チームとコミュニケーションがとれ、必要なことを報告・連絡・相談ができる。	1 患者・家族および医療チーム・地域の関連職種と良好なコミュニケーションがとれる	1 部署内および患者家族の問題を調整するために医療チームと積極的なコミュニケーションをとり良い人間関係を築くことができる				
	対応マナー	1 社会人としての基本的な対応マナーができる 2 患者を一個人として尊重し、接することができる 3 言葉づかい、身だしなみに気を配ることができる	1 患者・家族の立場を理解し、医療チームとして対応できる 2 患者及び家族の訴えを傾聴することができる	1 患者・家族が期待する対応サービスができる 2 忙しい時でも患者及び家族に落ち着いて対応できる	1 看護実践を通じて、患者満足度を高めることができる 2 常に接遇を意識して実践し、継続していくことができる 3 看護師としての品行を常に高く維持していくことができる				
看護サービス向上のための自己開発能力及び研究能力	調整能力	1 他のスタッフと協力して業務を行うことができる 2 自分で判断できない時は先輩・上司に相談できる 3 他部門と患者との関わりが理解できる 4 他人の意見を聞く姿勢を持つことができる	1 医師の検査オーダー、処方等の疑問点を確認できる 2 患者の意見を医師に伝達できる 3 報告すべきことが判断でき速やかに上司・医師に報告できる 4 他部門と患者との関わりが理解できる 5 他人の意見を傾聴し、チームワークを保つことができる	1 医療チームメンバーと連携をとり調整していくことができる 2 関連職種と情報交換し、社会資源の活用ができる 3 意見の不一致があった場合、積極的に話をまとめることができる	1 医師のオーダーの疑問点を医師とともに協議し、患者に最も良い治療提供ができるように連携できる 2 社会資源を活用し、患者のニーズにあった継続看護を提供できる 3 チームのリーダー的役割を果たし、より強いチームワークを築くことができる				
	自己開発能力	1 専門職業人として自覚することができる 2 院内教育プログラム・各学習会に積極的に参加し、自己学習できる	1 自己のキャリア形成における目標を見出すことができ、自己研鑽をすることができる 2 自己学習、院内外研修の成果を看護実践に有効に活用できる	1 専門職業人としての自己の在り方を明確にし、新たな課題に向けた行動が取れる	1 自己のキャリア形成における目標を見出すことができ、自己研鑽をすることができる				
	研究	1 日々の看護から問題を見つけ、研究活動に協力することができる 2 問題に対して文献を読むことができる	1 文献の検討から、研究計画を立てることができる	1 計画書に沿って研究実践ができる 2 研究対象に倫理的配慮ができる 3 研究論文をまとめることができる	1 研究を発表する機会を持つ 2 研究成果を看護実践に反映できる				
後輩・学生指導	1 学生および後輩などに対して、組織の一員として協力的に関わる	1 学生および後輩に対して、原理・原則に基づいた指導ができる	1 専門的知識や根拠に基づいて学生および後輩の指導ができる	1 指導的立場で、院内における教育活動に、主体的に取り組むことができる					

看護職員的能力開発要綱に沿って実施する

1 Plan面接前、本人評価欄にレベル I・II・III・IVの該当する番号を記入する(到達している項目にマーキングする)

2 目標を設定し、目標管理シートに記入して、評価者に提出する

3 plan面接で目標を決定する

4 See面接前、次年度欄に自己評価を行う